

# 図書館便り 9月号



CLICK

しあわせ電子図書館

CLICK

新宮中図書館蔵書検索「カーリル」

## 観月を楽しむ

地球に住む私たちにとって、月は最も近い天体です。距離の近さだけでなく、古より私たちの生活や文化・芸術などに深く関わってきました。

秋は湿度が下がり空気中の水蒸気が少なくなるため、月や星がぼやけずはっきりと見えるようになります。秋の夜長、月明りの下で幻想的な雰囲気に浸つてみてはいかがでしょうか。



『月光浴』  
石川賢治／写真  
(小学館) 請求記号 740 イ

満月の光だけで撮影された月光写真集。日本や世界各地の静謐(せいひつ)な満月の夜の情景を、鮮やかに映し出す。

### 中秋の名月(十五夜)

旧暦8月15日の十五夜に月見をする習わし。古くは中国から伝わった。月を愛でながら秋の収穫物を供えて五穀豊穣を祝い感謝する。

### 十三夜

旧暦8月13日の夜に行う月見。十五夜の後に見る名月なので「後の月」、この時期にお供えする作物から「豆名月」「栗名月」とも呼ばれる。出典『月の満ちかけ絵本』あすなろ書房



## 夜空を彩る天体ショー

9月8日には、約3年ぶりに日本全国で皆既月食が見られました。深夜から未明にかけて、赤銅色に輝く月が夜空を彩りましたが、見た人はいるでしょうか。

次回は来年の3月3日、日本でも見られるそうですので、興味がある人は観測してみてはいかがでしょうか。出典『国立天文台



『月の満ちかけ絵本』  
大枝史郎／文 佐藤みき／絵・  
(あすなろ書房) 請求記号 446 オ

およそ29.5日でひとめぐりする月の満ちかけの仕組み、日食・月食、潮の満ち引きなど、月と宇宙の不思議を分かりやすく解説した知識絵本。



## 月×物語といえばこれ

『竹取物語 すらすら読める  
日本の古典』  
長尾剛／文 若菜等、Ki／絵  
(汐文社) 請求記号 913 ナ

現存する日本最古の物語とされる『竹取物語』が、リズムの良い現代文と美しい挿絵で再現。古典が楽しくすらすら読めます。一部原文付き。



## 日本近代天文学の礎

『月のえくぼを見た男 麻田剛立』  
鹿毛敏夫／著 関屋敏隆／画  
(くもん出版) 請求記号 289 ア

江戸時代、幼少期から天体観測を続け、月面クレーターをスケッチ。独学でケプラーの第三法則を発見し、大阪に天文塾「先事館」を開いた人物の生涯を描く。



連載企画

## ✿本ごよみ✿



宮沢賢治は、大正～昭和時代の詩人、童話作家、農学者、



もういいかい?  
まーだだよ

忘れず緩めず、終息へ  
**結核**には  
まだ対策が必要です

かからない・ひろげない  
**呼吸器感染症**  
毎日・毎年の予防を続けよう

9.24~9.30

JATA

宮澤賢治と学ぶ宇宙と地球の科学 2 地球の活動

柴田元彦／編著  
(創元社) 請求記号 450ミ2

## 結核・呼吸器感染症予防週間

9月24日～30日は、厚生労働省が定める「結核・呼吸器感染症予防週間」です。

結核は、かつて「不治の病」とされ、宮沢賢治の妹トシも結核で命を落としました。効果的な薬により、現在の死亡率は大幅に低下しています。

しかし今なお年間10,000人以上が発症し、1,400人が亡くなる、日本の主要な感染症のひとつです(出典:厚生労働省HP)。インフルエンザや新型コロナなど他の呼吸器感染症とともに注意が必要です。



『教えて! 感染症: 「かぜ」から「新型コロナ」まで 3 感染症の影響と予防』  
土井洋平／監修  
(小峰書店) 請求記号 493才3

感染症の流行による影響を理解し、学校や家庭でできる予防法を学びましょう。

思想家です。皆さんは小学校でも『風の又三郎』『注文の多い料理店』『銀河鉄道の夜』などの童話に親しんだことでしょう。他にも、最愛の妹トシとの死別を詠んだ詩『永訣の朝』や、自身のメモ帳に書きつけた『雨ニモマケズ』などが有名です。

彼の作品には、故郷・岩手県の自然豊かな風土と、日蓮宗への熱心な信仰心が色濃く反映されています。彼がイーハトーブと名付けた理想郷の世界は、今多くの人に愛され続けています。参考文献☞『ポプラディアプラス 人物事典4』(ポプラ社)



## 今月の新着本

『宮澤賢治と学ぶ宇宙と地球の科学 2 地球の活動』  
柴田元彦／編著  
(創元社) 請求記号 450ミ2



宮澤賢治は少年時代から植物や鉱物の採集に熱中し、教師も務めました。その科学の知識はさまざまな作品に織り込まれています。賢治の作品やエピソードを手掛かりに地学の基礎を学べる新感覚の参考書シリーズ全5巻の第2巻。『グスクーブドリの伝記』等を参照し、火山のしくみなどを学びます。